

第1予算審査 特別委員会委員長 報告

委員長	松枝 治幸
副委員長	古賀 知文
委員	古賀 和正
	古賀 泰弘
	徳永 伸行
	松枝 友久

平成28年度一般会計

予算審査概要

歳入、歳出予算の総額は、55億4,800万円で対前年度比9,400万円の増、1.7%の伸びとなっている。

平成27年度の決算では1億円程度の基金の取崩しが見込まれるので、平成28年度の基金の取崩しについて注意を要すると感じたところである。

予算の配分にあたり、バランスを欠いた負担増を避け、より選択と集中を厳正に実施し、財政規律を保つていただくよう切に願うところである。

総務課

一般管理費の通信運搬費が増加している。環境課の配置換えによる部分もあるが、より安価な通信手段を比較検討されるよう要望した。

また、近年、全国的にうつ病の事例が増えているとの事であり、ストレスチェック、メンタルケアの充実と各課長の職員

への配慮を要望した。

企画課

ふるさと納税の謝礼品について、昨年度より大幅増加を目指すのであれば、謝礼品の不足が生じないように、バックアップ体制の整備を要望した。

婚活イベント企画業者委託は、プロポーザル方式を計画中で、イベントの年6回開催と町の魅力アップを提案してもらうとの事であった。大木町総合戦略のKPIの目標値である、5年で成婚5件を期待するものである。

会計課

新会計システム導入と公共施設等総合管理計画策定支援業務について、今後の行財政運営への活用等の確認を行った。

税務町民課

夏の参議院選挙は有権者が18歳になる最初の選挙でもあり、国や県も投票率向上に努

力されると考えられるが、町独自の関心度アップ策を要望した。

建設水道課

農業用排水路及び集落内排水路整備工事における計画断面が小さくないか、貯水の面からも水路の底面高を深くすべきでは、との意見に対する説明を受けたが、水路本来の機能確保のためにも拙速な結論を出さずに、慎重に検討するよう要望した。

産業振興課

町農業経営発展支援事業費が昨年比減額となっている。総務建設産業常任委員会と認定農業者協議会との意見交換会で出された女性農業経営者の育成が求められている点を配慮していただくよう要望した。

大木町総合戦略の最優先課題である安定した雇用の創出には、農業経営基盤を強化し、活力ある高収益型園芸産地育成事業が町の特徴を生かした戦略であり、積極的に事業を展開し、雇用の創出を期待するものである。

新規事業である沿線活性化事業や佐賀大学との廃菌

床の堆肥化を研究する、資源循環農業促進研究等大木町の特徴を生かして、町おこしになることを期待するものである。



予算審査現地調査の様子

平成28年度水道事業

特別会計予算審査概要

平成27年度から5ヶ年計画で第一期配水管路耐震化事業を国からの交付金、企業債及び一般会計からの出資金及び自己資金を財源に事業を展開している。

平成28年度の主な事業は、主要地方道久留米・柳川線道路改良工事に伴う水道管移設工事及び第一期配水管路耐震化事業である。

当該工事により、資本的収支に財源不足が生じるが、減債積立金、建設改良積立金及び過年度損益留保資金で補てんする予定である。

なお、平成28年度からの大型工事である、配水管耐震化工事の発注にあたっては、地元業者の参入、技術力の向上及び育成にもつながるよう、特記仕様書を整備されるよう要望した。

水道料金の改定については、今、定例議会において可決されたが、水道事業は、町民生活に密接にかかわる事業であり、安全・安心で安定した水、おいしい水を供給するために常日頃から、適正な維持管理に努めるとともに財政の健全化を図るよう指示した。



予算審査の様子